

# 住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第144号 平成28年12月28日  
発行 住友化学(株) アグロ事業部  
お客様相談室 0570-058-669  
編集者 太田有香  
発行責任者 玉置昌宏

## 目次

ご挨拶	p. 1
農家さん訪問記 (128)【新潟・なす】	p. 2
農家さん訪問記プラス【郷土ナスを食す】	p. 7
今月のご相談から【ダコニール1000・ベネセット水和剤 ／ダントツ粒剤／住友液肥1号・2号】	p. 8
農薬登録情報	p. 9
1月のおすすめ製品	p. 13
農業高校の今	p. 14
仙台リレーマラソン参加報告	p. 18
【お知らせ】i-農力だよりお休み 他	p. 19
i-農力だより農園	p. 20
ゆく年くる年	p. 21
編集後記	p. 22



サザンカとスズメ  
富樫 信樹 画

## ご挨拶

住友化学株式会社 執行役員 貫 和之

本年も残すところわずかとなりました。皆様にとりましてこの一年はどのような一年でしたでしょうか。日本の農業を取り巻く環境を振り返りますと、政府の規制改革推進会議などにおける農業構造改革および生産性向上に関する議論など、「日本の農業を強くするための改革」が大いに議論された年であったように思われます。

弊社でも「日本の農業を元気にする」という目標を掲げ、グループ会社と共に展開しているトータルソリューションプロバイダー型ビジネスやコメ事業の推進を通じて、「あらゆる場面で日本農業を支える企業」、「生産者の第一ブランドの企業」を目指して事業活動を行っています。次年度以降も日本の農業を元気にするお手伝いが出来ればと考えております。

さて、皆様にご愛読いただいています本 i-農力だよりも創刊から 17 年、144 号を積み重ねてまいりました。農家の皆様によりお役に立つ情報を発信するべく、2017 年 4 月に本誌と i-農力サイトをリニューアルいたします。それに伴い本誌を来年 1 月～3 月の間、お休みさせていただきます。ご不便をお掛けしますが、i-農力サイトは継続いたしておりますので、4 月のリニューアルまで暫くお待ちください。

日本の農業を取り巻く環境が変わりつつある中、我々もより一層農家の皆様のお役にたつ企業となるべく努力して参る所存ですので、次年度以降も弊社グループ及び i-農力だよりをよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりましたが皆様にとって 2017 年が良い年となりますことをお祈り申し上げます。

[目次へ戻る](#)

**農家さん訪問記(128)****新潟県長岡市の伝統“ナス”を守り育てる**

新潟の有名な農産物と言えばお米のコンヒカリですが、ナスも知る人ぞ知る新潟の名物であることをご存知でしょうか？なんと栽培面積は新潟県が全国1位です。農林水産省の統計を見ると、平成27年度の夏秋ナスの栽培面積は新潟県が629ha。2位は山形県の465haで堂々の1位です。おもしろいことに、栽培面積は1位ですが、生産量や出荷量はそれほど上位ではありません。自家消費が多く露地栽培に限られていることが理由のようです。ナスは、弊社元技術顧問の故 瀬古龍雄先生が専門としていた作物の一つであり、弊社ホームページの“本格的な野菜作り”に詳しく記述されています。



土田 重兵衛さん

今回訪問した新潟県長岡市の農家さん土田（つちだ）重兵衛さん（53歳）は、このホームページの記事がご縁で取材させていただくことになりました。瀬古先生が記事中に新潟県のナスの由来について紹介していますが、より詳しい由来を追加情報として編集室に寄せてくださったのです。“新潟県には地元特産のナスがある、どんなナスだろう？”、そんな好奇心も手伝って、土田重兵衛さんに取材をお願いし、新潟県長岡市を訪問することになりました（訪問日：2016年7月26日）。

ところで、土田さんの苗字は“土”で、点がある土の字です。

**伝統あるナスを栽培し続ける7代目**

現在、日本国内で最も流通しているナスは長卵形で、品種は“千両二号”が有名です。土田さんが栽培しているナスは、長岡市伝統の“中島巾着”と“梨ナス（十全系と黒系）”が主です。この3品種を含めて800株を栽培し、地元のスーパーマーケットなどに地場野菜として出荷・販売しています。

“中島巾着”は写真のように巾着型をしている大型のナスです。縦に皺がありますが、皺が多いほど良いとされるそうです。漬物やふかしなす、煮物に適しているとのこと。

“梨ナス”は、“中島巾着”よりも小型で先が丸いナスで、浅漬けに最適です。その多汁質でみずみずしい食感と甘み、やわらかさから“梨ナス”と呼ばれています。写真には“本当の梨ナス”と書いてありますが、梨ナスには来歴の異なる2種類があり、長岡に最初に導入された“梨ナス”は、古いタイプの大坂泉州水ナスの系統（十全系）で、導入当初から梨ナスと呼ばれ、色が薄く実が締まっているのが特徴です。土田さんご自身の祖父や父から受け継いだこの梨ナスが正統な梨ナスと自負し、“本当の梨ナス”と名付けて販売しています。黒い系統の“梨ナス（黒系）”は十全系よりも年代が遅くなってから導入された異なる品種で、形は似ていますが、色が濃いのが特徴です。



中島巾着



本当の梨ナス（十全系）

“中島巾着”と“梨ナス”の歴史をお聞きしました。土田さんは先祖が長岡藩の足軽で、中島地区で農業を始めてから7代目に当たり、初代から約200年となる農家さんです。ナスは奈良時代には既に日本で栽培されていたようですが、土田さんのお話では、“中島巾着”が中島地区に伝わったのは明治時代で、長い期間雪に閉ざされる越後の冬の長期保存用漬物として最適だったために一気に広まったそうです。

“中島巾着”の伝来については2つの説があります。一つは、中島に嫁いできたお嫁さんが嫁入り道具の代わりにナスの種を持ってきたのが始まりとする説。もう一つは、明治時代に新潟県の農事試験場が中島地区の先進農家に“巾着ナス”の試験栽培を依頼した時の種という説。いずれにしても中島地区の農家から栽培が始まったのは間違いないようです。

一方“梨ナス”は、十全系は昭和13年、中島地区に導入した皮色の薄い品種で、黒系は昭和19年以降に大島地区で種子販売された皮色の濃い泉州水ナスの絹ナス系です。

ところで、“梨ナス”の祖先は“泉州水ナス”と考えられていますが、現在の“泉州水ナス”はもう少し長卵形で皺がありません。“梨ナス”と形態がすこし異なるようです。その理由は、“泉州水ナス”も時代とともに変化し、現在の卵形になったとのこと。ナスの形も時代とともに変わるのです。



梨ナス（黒系）



“中島巾着”

## 畑は信濃川の河川敷

土田さんの圃場を見学させていただきました。圃場は信濃川の河川敷にあります。この地域は明治時代、先進的な農業の実践圃場で、明治天皇が視察に来られた由緒ある農業地域です。栽培は三本仕立てで、両側からビニタイで支える方法。河川敷なので大雨時に河川の水が畑に入る可能性があり、ネットを張るY字・U字仕立てだと冠水後の復旧作業が大変なので、この栽培方法を採用しています。

“中島巾着”は根張りが弱い一方、多肥による弊害が出やすい性質があり、肥培管理は、元肥を控えめに追肥を主体とする栽培を行っています。





みずみずしい“中島巾着”

中島巾着は皺の多い果実が良品で、おもしろいことに、同じ株から育った果実でも、上位の枝に成った果実は丸みを帯びる傾向にあるとのこと。

5月末から6月初めに定植し、元肥は鶏糞を主体として、追肥は化成肥料と有機肥料を調節しながら畝脇に施用します。収穫は6月下旬から始まりますが、気象条件が良ければ10月中旬まで収穫が可能です。盆の時期を過ぎると皮と果実は硬くなる傾向にありますが、硬い方が味噌漬けには適しているとのこと。



皺の多い“中島巾着”（左）と丸みを帯びたナス（右）

“梨ナス”の圃場は“中島巾着”の圃場とは離れた場所にありました。ここも河川敷です。“梨ナス”は水および肥料を“中島巾着”よりも多く与えています。収穫は毎日、日の出前後から約3時間で、収穫した後袋詰めし、朝どり野菜としてスーパーマーケットに並べます。



“梨ナス”の栽培風景



水ナス系統なので、“梨ナス”を手で潰すと水が出る

出荷先のスーパーマーケットに立ち寄りしました。野菜販売エリアの一角に朝どり野菜コーナーがあり、地元の農家さんがそれぞれの野菜をコンテナに入れて販売しています。さすがにナスの本場で、土田さんが出荷している“中島巾着”、“本当の梨ナス”、“梨ナス（黒系）”以外にも、丸



スーパーマーケットでナスを並べる  
土田さんの奥さん

ナスや細長いナスなど 5~6 種類が販売されていました。朝どりをセールスポイントにしているのので、売れ残りは持ち帰って廃棄すること。まだまだ商品価値がありますが、もったいない話です。

## 新潟市農業活性化研究センターを訪問

土田さん取材した後、新潟市農業活性化研究センターを訪問し、小田切さん、鍋田さん、船木さんからお話を伺いました。小田切さんは瀬古先生の新潟県園芸試験場時代の部下であり、一緒に野菜の育種や研究に携わった方です。退職後、現在は研究センターのアドバイザーをされています。今回の取材に当たり、土田さんが小田切さんへ依頼して下さい、見学できる運びとなりました。

新潟市農業活性化研究センターは新潟市のさらなる農業振興を図るため、平成 25 年 6 月に開設された新しい施設で、新潟市の伝統野菜の維持と普及拡大を目的としています。ナスも当然伝統野菜に入りますが、見せていただいた資料には 10 種類以上のナスが伝統ナスとして記載されていました。例えば、“一日市（ひといち）ナス”と呼ばれる品種は、文献には記載がありましたが、既に消滅したと思われていました。しかし、一軒の農家さんが細々と栽培を続けていることがわかり（それも数株）、再発見されたものです。また、“越後白なす”は真っ白な品種で、洋風料理に適するそうです。新潟市農業活性化研究センターには展示および品種の維持を目的とする圃場があり、ナスも栽培されています。見学させてもら



左から、小田切さん、鍋田さん、船木さん

うと、伝統ナスが整然と栽培されていました。先が尖っていて焼きナスに適する“鉛筆”ナスや、真っ白な“越後白なす”もありました。



新潟市農業活性化研究センターでの  
伝統ナスの栽培





“越後白ナス”



“鉛筆”ナス

## 伝統ナスを子供たちに

最後に、土田さんに今後の抱負をお聞きしました。

「これからも伝統ナスを守り、次世代につなげることを使命に“中島巾着”、“梨ナス”の栽培を続けます。単に生産だけでなく、消費者に伝統野菜の価値を理解してもらう活動も行っていきます。積極的に活動しないと、伝統野菜は消滅してしまうとの危機感があるからです」。土田さんは地元の小学校にナスの苗を提供し、小学校の生徒さん達と一緒に“中島巾着”や“梨ナス”の栽培を行っています。収穫したナスは学校給食の食材として利用しますが、この活動を通じて、子供たちの伝統野菜に対する理解を促すことも目的です。今後も“中島巾着”や“梨ナス”の知名度を上げ、次世代へ伝える活動を継続していきます。

(泉・竹迫)

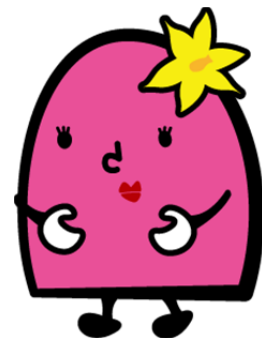
## ナスの病害防除に

**スクレア** コロアブル

**ピクシオ** DF



使ってみてね



[目次へ戻る](#)

農家さん訪問記

プラス

## 郷土ナスを食す



新潟県長岡市の土田さんを訪問し郷土ナスを取材しましたが、土田さんから、「“梨ナス”や“中島巾着”の良さは食べてみないと分からない」と、長岡市の日本料亭で食する機会を設けていただきました。お店は、土田さんのナスを食材として利用されている日本料理店“此の花”さんです。特別版として、梨ナスの料理をご紹介します。

“此の花” <http://www.n-konohana.com/>

## ①ふかした梨ナス(ふかしなす)

定番料理ですが、さすがにプロが料理すると、色つやが良く、程よい柔らかさです。大きさもふかしなすとして丁度良いサイズです。



## ②梨ナスの煮物

だしの味がしみて、高級な味わいです。ナスの煮物は家庭でもよく料理しますが、料亭の料理となると格が違います。これほど上品な味になるのかとびっくりするほど。また、梨ナスは煮物に非常に合います。ナスの煮物のコツをお聞きしました。

- ・だしの材料はケチらず、高級品を使うこと。
- ・ナスを必ず油で揚げること。
- ・調理後、だしがナスにしみ込むように時間を置くこと。

「お店は味付けでお金をもらっている。家庭のだしと材料が違う」と言われました。



## ③キュウリと梨ナス、オクラのおひたし

ミョウガが添えられています。オクラはゆでてありますが、キュウリとナスは生のままとのことです。それにだしを加えたおひたし。驚いたのは、生の梨ナスの食感がとても生とは思えない柔らかさであったこと。口の中で溶けるような感覚でした。



「知りたい！聞きたい！農薬・肥料」のお客さま相談室より

# 今月のご相談から



## 1. 岡山県 販売店の方

**Q：**今年たまねぎのべと病が多発し、農家を含めて家庭菜園でも大きな被害を受けました。既存のダコニール1000と併せてベネセット水和剤での上手な使い方を教えてください。

**A：**べと病は10-12月の秋季と、気温が15度前後になる春季に発病し、特に4-5月に雨が多いと多発します。秋季に感染した株は葉が湾曲し、光沢が無くなり黄化して株が開き気味となります。今秋の防除時期は過ぎてしまいましたが、秋季感染を防ぐために定植後の防除が重要です。圃場で上記の症状を示す越冬株を発見したら、抜き取り処分してください。本病は、春先の気温が10度を超えると胞子の飛散が始まりますので、ダコニール1000とベネセット水和剤を2-3月より交互に散布してください。散布間隔は2週間程度を基本としますが、特に降雨の後に分生胞子が拡散しますので、降雨後の散布を心掛けてください。たまねぎは栽培期間が長くなりますので、両剤を組み合わせてください。ダコニール1000は予防剤で6回以内、ベネセット水和剤は治療活性もあり3回以内の使用ができます。べと病に限らず病害の防除は、発病前から定期的な散布を基本とすることで高い効果に結びつきます。



## 2. 熊本県 農家の方

**Q：**かんきつ苗木のミカンハモグリガにダントツ粒剤を使用して、翌年に本圃に定植し実がついた場合、果実残留の問題は生じませんか？

**A：**かんきつの本圃への定植は2-3月頃と思われますが、定植することで苗木での農薬使用回数はリセットされます。又、定植後の当年に結実した果実での残留は問題になりません。但し、本剤はかんきつ苗木での登録であり、果実をつけ収穫する場合は苗木ではありませんので使用できません。

## 3. 宮城県 一般の方

**Q：**野菜類や花き類での住友液肥1号と2号の使い分けを教えてください。又、殺菌剤や殺虫剤と混用して葉面散布しても問題ないですか？

**A：**住友液肥1号はなすやきゅうり、キャベツなど施肥チッソ量の多い作物向きです。根菜類やじゃがいもなど施肥チッソ量が比較的少ない作物には液肥2号が適しています。300倍希釈液を1週間間隔で施用し、生育が旺盛ならば間隔を広げてください。葉面散布での肥料効率はそのほど高くないので、灌水を兼ねて土壌への施用をお勧めします。農薬との混用では、特に花き類では薬害の可能性もありますので、混用せず別々に散布することをお勧めします。

(酒井)

[目次へ戻る](#)



**農薬登録情報**

11月16日、30日、12月14日の主な適用拡大の内容です。

詳細はここをクリックしてください。

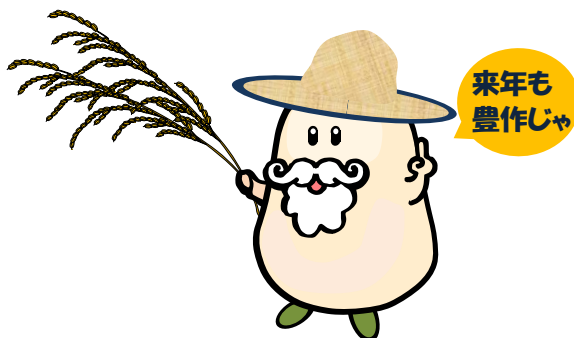
<http://www.i-nouryoku.com/prod/tekiyou/2016.html>

## ○殺虫剤

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
アディオン乳剤 (2016/11/30)	作物名 変更	—	豆類（未成熟、ただし、さやえんどう、未成熟そらまめを除く）	豆類（未成熟、ただし、 <b>さやいんげん</b> 、さやえんどう、未成熟そらまめを除く）
	害虫追加	<b>さやいんげん</b>	アザミウマ類他6害虫	左記に <b>カメムシ類</b> 追加
		にんにく	アブラムシ類	アブラムシ類、 <b>ネキコガ</b>
		だいず	マメシロカ、シヤカイモヒゲナガアブラムシ	マメシロカ シヤカイモヒゲナガアブラムシ <b>フタスジヒメハムシ（散布）</b>
ロディー水和剤 (2016/11/30)	希釈倍数 変更	アスパラガス	カメムシ類（3000倍）	カメムシ類（ <b>2000～3000倍</b> ）
		りんご	カメムシ類（1000倍）	カメムシ類（ <b>1000～1500倍</b> ）
ゲットアウトWDG (2016/11/30)	害虫追加	あずき	アブラムシ類、ノメイカ類	アブラムシ類、ノメイカ類 <b>マメホソクサノウムシ</b>
ダントツ水溶剤 (2016/11/30)	希釈倍数 変更	ばれいしょ	アブラムシ類（4000倍）	アブラムシ類（ <b>2000～4000倍</b> ）
		なす	ミナミキイロアザミウマ、ハモク リハエ類（2000倍）	ミナミキイロアザミウマ、ハモク リハエ類（ <b>2000～4000倍</b> ）
		すいか	アブラムシ類（4000倍）	アブラムシ類（ <b>2000～4000倍</b> ）
		メロン	トマトハモク リハエ（2000倍）	ハモク リハエ類（ <b>2000～4000倍</b> ）
		かんきつ	ミカンキジラミ、コナジラミ類 （2000倍）	ミカンキジラミ、コナジラミ類 （ <b>2000～4000倍</b> ）
		なし	チュウコクナシキジラミ （2000倍）	チュウコクナシキジラミ （ <b>2000～4000倍</b> ）
		きく	アザミウマ類（2000倍）	アザミウマ類（ <b>2000～4000倍</b> ）
		オリーブ	オリーブアナアキゾウムシ （2000倍）	オリーブアナアキゾウムシ （ <b>2000～4000倍</b> ）

## ○殺虫剤（続き）

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
ダントツ水溶剤 (2016/11/30)	害虫追加	花き類 観葉植物	アフリラムシ類	アフリラムシ類、アザミウマ類
		オリーブ	オリフアナアキゾウムシ	オリフアナアキゾウムシ ミナミアオカメムシ
		レタス	アフリラムシ類、ナメクシリハエ	アフリラムシ類、ナメクシリハエ アザミウマ類
		ピーマン	アフリラムシ類、コナジラミ類 ハメクシリハエ類	アフリラムシ類、コナジラミ類 ハメクシリハエ類、カメムシ類
		かぼちゃ	アフリラムシ類	アフリラムシ類、ウリハムシ
		メロン	アフリラムシ類、コナジラミ類 ミナキイロアザミウマ、トマトハ メクシリハエ	アフリラムシ類、コナジラミ類 ミナキイロアザミウマ、ハメクシ リハエ類、ウリハムシ
	にがうり	ミナキイロアザミウマ	ミナキイロアザミウマ、 アフリラムシ類	
	害虫名 変更	ばら	ミナキイロアザミウマ	アザミウマ類
	使用時期 変更	いんげんまめ	収穫7日前まで	収穫前日まで
	作物追加	—	稲他77作物	左記にオリーブ(葉) くわい、なつめ、 デイゴを追加
ダントツ箱粒剤 (2016/11/30)			稲(箱育苗)	稲(箱育苗)、稲
ダイアジノン乳剤 40 (2016/12/14)	使用回数 変更	さやいんげん	本剤：2回 タアジノン：3回	本剤：3回 タアジノン：3回以内(種 子粉衣は1回以内、粒 剤は2回以内)
		さやえんどう 実えんどう	タアジノン：4回	タアジノン：6回以内(種 子粉衣は1回以内、粒 剤は2回以内、乳剤は 3回以内)
プレオフロアブル (2016/12/14)	希釈倍数 変更	豆類(未成熟)	ハスモンヨトウ(1000倍)	ハスモンヨトウ(1000~2000 倍)
	害虫追加	オクラ	オオタバコガ	オオタバコガ、ハスモンヨトウ



## ○殺虫殺菌剤

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
スタウトダントツ 箱粒剤 (2016/12/14)	害虫追加	稲	イネミスヅウムシ	イネミスヅウムシ、イネトオイムシ
	使用時期 変更/追加	稲(箱育苗)	「イネヒメハモクリハエ」 移植3日前～移植 当日	「イネヒメハモクリハエ」 は種前、は種時(覆土 前)～移植当日
「苗立枯細菌病」 は種時(覆土前)			「苗立枯細菌病」 は種前 は種時(覆土前)	
箱王子粒剤 (2016/12/14)	害虫追加	稲	「穂枯れ(ごま葉枯 病菌)」 移植3日前～移植 当日	「穂枯れ(ごま葉枯病 菌)」 は種前、は種時(覆土 前)～移植当日
			—	既登録の害虫とは別に イネトムシ(は種前、移植3 日前～移植当日)を追 加
スタウトパディー ト箱粒剤 (2016/12/14)	使用時期 変更・追加	稲(箱育苗)	は種前、は種時(覆 土前)～移植当日で の4害虫	左記にコブノメイガを追 加
			「穂枯れ(ごま葉枯 病菌)、内穎褐変病」 移植3日前～移植 当日	「穂枯れ(ごま葉枯病 菌)、内穎褐変病」 は種前、は種時(覆土 前)～移植当日
ブラシンジョーカ ーフロアブル (2016/12/14)	病害追加	稲	「希釈倍数 1000 倍」いもち病、ごま 葉枯病、穂枯れ、変 色米	左記に内穎褐変病、も み枯細菌病を追加

## ○植調剤

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
S T ジベラ錠 (2016/11/16)	作物追加	—	ぶどう及びぶ どう以外の 45作物	左記に温州みかん(苗 木)及びかんきつ(苗 木ただし、温州みかん を除く)を追加
	作物統合	ぶどう(シャインマスカットを除 く2倍体欧州系品種) 「無核栽培」	—	—
ぶどう(シャインマスカット)「無 核栽培」				



## ○ 除草剤

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
バサグラン液剤 (2016/11/16)	作物追加	—	移植水稻他 14 作物	左記に <b>せり</b> を追加
オサキニ1キロ粒剤 (2016/11/30)	雑草追加	移植水稻 直播水稻	水田一年生雑草他 7 草種	左記に <b>アオミドロ・藻類</b> による表層はく離追加
	雑草名 変更		ハラオモダカ(東北)、 ミスガヤツリ(北海道を 除く)	<b>ハラオモダカ、 ミスガヤツリ</b>
ゼータタイガー フロアブル (2016/11/30)	雑草追加	移植水稻	水田一年生雑草他 8 草種	左記に、 <b>オモダカ、コウキガ ラ、アオミドロ・藻類</b> による表層はく離追加
	使用方法 追加		原液湛水散布	原液湛水散布、 <b>水口施 用又は無人ヘリコプター</b> による散布
ゼータハンマー 1キロ粒剤 (2016/11/30) ゼータタイガー 1キロ粒剤 (2016/11/30)	雑草追加	移植水稻	水田一年生雑草他 8 草種	左記に、 <b>オモダカ、コウキガ ラ、アオミドロ・藻類</b> による表層はく離追加
	使用方法 追加		原液湛水散布	原液湛水散布 <b>又は無 人ヘリコプター</b> による散布
忍1キロ粒剤 (2016/11/30)	使用方法 追加	移植水稻 直播水稻	湛水散布	湛水散布 <b>又は無 人ヘリコプター</b> による散布
フルミオWDG (2016/12/14)	作物追加	—	だいず、わた いんげんまめ、 べにばないんげん、	だいず、わた いんげんまめ、 べにばないんげん <b>ばれいしょ</b>
	適用土壌 削除	—	砂壤土～埴土	左記規定を削除

## ★ 新規登録 ★

「平成28年12月14日登録」[ 除草剤 ]

**ゼータハンマーフロアブル**

農林水産省登録 第23878号

**ゼータハンマージャンボ**

農林水産省登録 第23879号

薬剤名	作物名	適用雑草	使用時期	使用量・使用方法	本剤の 使用回数
ゼータハンマー フロアブル	移植水稻	水田一年生雑草 及び マツハ <sup>1</sup> 他9草種	移植後3日～ ビ <sup>1</sup> E3葉期 ただし 移植後30日まで	500ml/10a 原液湛水散布	1回
ゼータハンマー ジャンボ				小包装(ハ <sup>1</sup> ツク) 10個/10a 水田に小包装のまま 投げ入れる	

総使用回数：プロピリスルフロ<sup>1</sup>ン(2回以内)、ヘントキサゾ<sup>1</sup>ン(2回以内)

(山脇)

[目次へ戻る](#)

# 1月のおすすめ製品



画像をクリックしていただくと、i-農力サイトの詳細ページが表示されます。

## 水稻農薬

### 箱王子粒剤



播種前～移植当日まで使用でき  
いもち病・初期害虫・チョウ目害虫  
などを徹底防除！

### 箱いり娘粒剤



水稻の主要害虫・いもち病・  
紋枯病をまとめて防除可能！

### ワンリードSP 箱粒剤



播種前～移植時まで使用可能！  
めざせ、豊穡の大地！

### スタウトパディート 箱粒剤

病害虫の侵入を許さぬ強固な守り



播種前～移植当日まで使用でき  
いもち病・初期害虫・フタオビコヤガ  
を防除！

## 園芸農薬

### ゴッツA



微生物の力で病害虫をブロック！  
施設栽培の野菜類全般に使用可

### ベンレート水和剤



水稻・果樹・野菜の病害防除！

### ピクシオDF



灰色かび病防除に！！

### ダントツ



幅広い殺虫効果＆優れた  
浸透移行性！残効も長い♪

## 除草剤

### ゼータタイガー



3成分配合でクログワイに底  
力！3製剤勢揃いで新登場！

### ゼータハンマー



2成分で高葉齢のノビエにも  
高い効果！田植同時処理可

### ゼータワン メガゼータ



難防除雑草に優れた効果！  
3剤型勢揃い！

### ゴエモン



ノビエに卓効の新規成分！  
ついにジャンボ登場！

## 肥料

### 住友 液肥M号



メチオニン・グルタミン酸  
添加アミノ酸入り液肥

### スミカエース



野菜・果樹・花き・芝生・茶用  
硝酸化成抑制材 DCS 含有

### スーパー SRコート



被覆肥料の種類が豊富  
溶出 20日～180日まで！

### 薬一



倒伏軽減剤入り  
水稻用基肥一発肥料

[目次へ戻る](#)

# 農業高校の今

## ～福島県立岩瀬農業高等学校編⑤～

全国の農業高校の取組みを不定期で紹介しているこのコーナー。若者の「農業離れ」が叫ばれる昨今、農業高校に通う生徒が農業に対してどのように向き合っているか、表面上にとどまらず一歩踏み込んだレポートにしたいと思います。「福島県立岩瀬農業高等学校」の5回目です。

りきのう

### 力農 Café (高校生レストラン)

11月20日(日)、福島県須賀川市にある居酒屋を借りて、1日限りの高校生レストラン「力農 Café」がオープンしました。生産情報科の3年生が年に数回実施するもので、メニュー構成に始まり、事前の仕込み、当日の調理、接客、会計に至るまで全て生徒で運営しています。限定25食のランチは、評判を知る近隣のお客さんの予約で毎回埋まってしまうほどの人気ぶり。小雨がちらつく寒い日でしたが、下準備の時間からお邪魔したところ、店内は生徒さんの活気であふれかえていました。



高校生レストランとしてお借りしている「須賀川 kitchen あぐり」

### 力農 Café の始まり

生徒が所属する農業クラブでは、生徒達自身で研究テーマを選び、その成果を発表しています。生産情報科の研究テーマは①地域(福島県)の農業を知る ②情報を発信する の2つ。昨年4月から始まった活動では、地域農業を知るため、地元の農家や牧場、パン工房などを1軒ずつ訪問し、取組みや現状について学びました。そうして得た情報を発信すべく、地元食材を使用して料理を作る各種コンテストに出場して入賞する等、その活動が認められ認知度が上がって来ました。そんな時須賀川市にある居酒屋「須賀川 kitchen あぐり」の西間木店長から「地域活性化に向けた取組みに参加したい」との申し出を受けたのです。この店は岩瀬農業高校(岩農)から近く、地元農家から直接農産物を仕入れて調理しているお店で、高校生レストランには最適な環境でした。生徒皆で話し合い、店名は「力農 Café」に決定しました。「苦しいときも頑張ろう」という精神を象徴した「力農」という言葉は、岩農の創設以来受け継がれ、今も生徒の心の糧になっています。

### オープンまでの道のり

力農 Café のコンセプトは、生徒たちでメニューを考え、調理し、お客様に提供する「農業高校生が作る安全でおいしくまた来たくなるお店」です。お店が決まり、ロゴも地元の広告会社の協力で素敵なデザインが出来上がりました。肝心の食材は岩農の収穫物をベースに、地元の食材で全てまかなうという地産地消モデル。今年6月に実施した1回目の力農 Café では、西間木店長の指導を受けながらメイン料理を「野菜カレー」に決定、飲み物やデザートは、カレーの辛さを和らげ、なおかつさっぱりしたのものと、メインを含めて試行錯誤しながら味や見た目の改良を続けました。おかげで評判は上々、新聞社からの取材も来たそうです。



当日のメニュー表



## 本日のメニュー

そんな力農 Café 2 回目のメニューはこちら。

- ・白河高原清流豚と二瓶食品のハンバーグ デ味噌ソース  
豆腐入りハンバーグ  
デミグラスソースに赤味噌を加えたところがミソ
- ・ハイブリッド豚汁  
豚汁とけんちん汁をコラボさせた、しょうゆベースの  
あっさりした味
- ・ご飯  
岩農産の「天のつぶ」を使用

### ・3種のベリーソーダ

食品科学科が作ったブルーベリージャムをベースに、カシス・いちごですっきりした甘さに

### ・和風パフェ

抹茶ときなこを練り込んだ白玉がポイント  
食品科学科が作ったバニラアイスを使用

メニューは前回同様、西間木店長のアドバイスを受けながら生徒達で考え、試作を重ね改良しました。18日（金）から仕込みを行い、当日は8時半にお店に集合、11時半のオープンを目指して各自が自分の担当作業をテキパキとこなしていきます。自分の担当が早く終わった生徒は、遅れている生徒を手伝う等、助け合って作業を進めていました。



オープン直前最終確認

## いよいよオープン

当日は全て予約で満席、11時半のオープンを待ちかねたお客さんがお店の前に並びます。接客の段取りを何度も練習し、メニューの説明を頭に叩き込んではいるのですが、いざ本物のお客さんを前にすると緊張で頭が真っ白になります。接客に慣れていない生徒は、接客のバイト経験がある生徒がフォローしながら、それぞれの担当を懸命にこなしていきます。高校側のご好意で筆者の分も用意してくださったので(26食目です)早速いただきました。



お客さんをご案内



厨房はてんてこまい

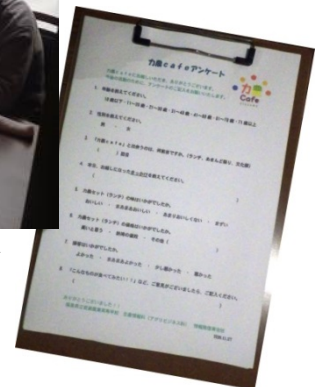
ハンバーグは豆腐入りとは思えないほどミンチの食感がしっかり味わえ、味噌で深まったコクも相まって味がしっかり凝縮されており、それでいてしつこくなく、いくらでも食べられます。豚汁はとにかく具だくさんで、豚肉にまぶした片栗粉がいいとろみ具合を出し、素材の味がするやさしい味付けです。岩農産のお米「天のつぶ」は、つやつやして甘みがあり、ハンバーグによく合いました。ベリーソーダのさっぱりした酸味で口直しをし、デザートのパフェをいただきます。底の黒糖かりんとうがいい食感のアクセントとなり、白玉のもちもち感を引き立てます。食品科学科が作ったバニラアイスは強烈な主張こそないものの、全体のベースとなりパフェをうまくまとめていました。



詳しい説明は前頁メニュー参照



アンケートにご協力いただき  
お客さんへのサービスに  
活かします



丁寧な接客と会計

## Café を終えて

後日、参加していた生徒さんに感想を伺いましたので、生徒さんの紹介もかねてご覧ください。

### 古川 綾(ふるかわ あや)さん

- ・今回のレストランでの自分自身の目標  
地元(福島県)の農産物のおいしさを伝えたい。
- ・今回のレストラン運営に参加してみて感じたこと(良かったこと)  
ハンバーグに入れる豆腐の裏ごしが大変だった。  
試作を行っていく中で、自分の意見を伝えたり、相手の意見をしっかりと聞くことができた。  
皆でよりよいランチを作ろうと頑張った。
- (反省点)  
係分担を細かく決めておいたほうが良かった。
- ・進路と将来の夢  
地元の企業(製造業)に就職。今後もこういった取り組みに参加してみたい。

### 田中 零絵(たなか ことえ)さん

- ・今回のレストランでの自分自身の目標  
前回(6月)よりも多くの人に喜んでほしい。
- ・今回のレストラン運営に参加してみて感じたこと(良かったこと)  
「須賀川Kitchenめぐり」の皆さんにも指導して頂き、毎日、放課後や授業などで試作を行い、協力してランチを完成させることが出来た。
- (反省点)  
メンバー同士の声の掛け合いが少なくなりました。
- ・進路と将来の夢  
地元の企業(製造業)に就職。料理関係の仕事ではないが、「食」に対して意識するようになった。



**円谷 真由**(つむらや まゆ)さん

- ・今回のレストランでの自分自身の目標  
地域の活性化につなげたい。
- ・今回のレストラン運営に参加してみて感じたこと  
(良かったこと)  
家族も応援してくれている。前回は今回も食べに来てくれて、「おいしい！」と喜んでくれた。
- (反省点)  
オープン時にお客様がたくさんいらっしやう、うまく対応できなかった。
- ・進路と将来の夢  
専門学校へ進学し、経営などについて勉強する。

**吉田 瑠衣**(よしだ るい)さん

- ・今回のレストランでの自分自身の目標  
地元の野菜などを使い、料理を作って提供し、地元を活気づけたい。
- ・今回のレストラン運営に参加してみて感じたこと  
(良かったこと)  
ほかの人の意見を尊重することができた。ハンバーグを作っていく中で、どうやったら素材の味を生かせるかなど、話すことができた。
- (反省点)  
接客の練習をもっとしておいたほうがよかった。
- ・進路と将来の夢  
地元の企業(製造業)に就職する。

**渡邊 乃樹**(わたなべ だいじゅ)さん

- ・今回のレストランでの自分自身の目標  
地元で生産された野菜のおいしさを知ってもらいたい。
- ・今回のレストラン運営に参加してみて感じたこと  
(良かったこと)  
地元の農家さんの取り組みを知ることができた。
- (反省点)  
もっと農家さんたちの思いを知ってもらいたいと思った。
- ・進路と将来の夢  
地元の企業(旅館)に就職する。

**渡部 友規**(わたなべ とものり)さん

- ・今回のレストランでの自分自身の目標  
お客様に地元の野菜に興味を持ってもらいたい。
- ・今回のレストラン運営に参加してみて感じたこと(良かったこと)  
メンバーと協力して活動ができた。
- (反省点)  
だしの取り方をもっと練習したかった。
- ・進路と将来の夢  
地元の企業(食品関係)に就職する。

実施にあたりお世話になった方と

**岩農おもしろ講座**

岩農では年に数回「おもしろ講座」と題して、各科の先生・生徒が地域のみなさんを対象に公開講座を開催しています。11月29日(火)に「6次化体験！」と題して、生産情報科の先生と生徒が講師になり、参加者に生産から加工、販売までを一通り体験してもらった講座が行われました。

今回作ったのは「サツマイモのミニパウンドケーキ」。サツマイモは園芸科学科が育てた「ベにはるか」を使用し、生徒が先生役となって作業工程を説明しました。また販売には欠かせないラベル作りでは、先生主導のもと、生徒が補助をしながら参加者にラベルを作成してもらいました。

他にもヨーグルトやアロマキャンドルを作ったり、植物の組織細胞などミクロの世界に触れる講座もあり、どの講座も毎年人気となっています。



生徒が先生となり教えます



ラベル作りの様子



## 「第6回 仙台リレーマラソン」に参加しました!!!



11月13日(日)、仙台市陸上競技場で行われた「第6回 仙台リレーマラソン」に、営業部 仙台営業所スタッフを中心とした、チーム名「住友化学 忍組」(走者9名、応援2名、総勢11名)が参加、1本のタスキを繋ぎ無事完走しました。

毎年の事ながら大会参加に際して悩む事は「どんな格好で大会に参加するか?」。本大会には例年、住友化学の農薬に因んだコスプレで参加。これまで大会事務局認定のベストパフォーマンス賞を数回獲得しており、「どんな衣装で走るか?」で毎年頭を悩ませています。

水稲用除草剤 ゼータタイガー剤は推奨薬剤の一つ。今年は本剤に因み、ゼータタイガーTシャツを作成、着用する事にしました。Tシャツの柄は、虎に因んだ黄色。前面は薬剤キャラクターの虎、背面は「雑草、一撃。」をプリントしました(写真)。本年は、このゼータタイガーTシャツ+タイガーマスクの被り物で大会に臨みました。

大会当日は晴天。絶好の日和の元「住友化学 忍組」のメンバーはタスキをつなぎ続け、ゴールしました。完走タイムは、3時間10分56秒(走行距離:42.195km)。本大会にはこれまで数回出場していますが、今回がベストタイムです。目標にしていた?「ベストパフォーマンス賞」は獲得できませんでしたが、こうした好タイムでゴールできた事は、参加メンバーの自信に繋がったと思います。



例年、レース後は仙台駅前の居酒屋で慰労会を実施、参加/応援メンバーで完走の祝杯を挙げています。実は今回の仙台リレーマラソン、参加を迷いました。私事で恐縮ですが、10月1日付で福岡営業所に異動したためです。「リレーマラソンの為に、福岡から仙台まで行くのは面倒だな」。そうした気持ちを持った事は否めません。

東京勤務の齊藤修省さんと佐々木理香さんは毎年、東京から衣装持参でボランティア参加してくれています。大会前、2人に参加を打診したところ「今年も参加」の二つ返事。気持ち良い返事を聞いて「私も参加しよう」と考えを改め参加しました。レース後、仙台駅前の居酒屋でメンバーたちと完走の祝杯を挙げながら、「やはり、参加してよかった」と思いました。

「無理なく、楽しく」を合言葉に臨んだ大会。無事に完走出来た事、

ベストタイムで完走出来た事、嬉しく思います。レースに参加した皆さん、応援に来てくれた皆さんに感謝します。

有難うございました。

【レース参加者】(左上から)

齊藤 修省(住化アグロソリューションズ)、  
村上 義彦、岩田 晴、尾形 洋平、  
島田 哲男、齊藤 貴之、  
佐々木 理香、藤田 昌輝、  
飯塚 隆太



# 応援ありがとうございました！

(福岡営業所 岩田)

[目次へ戻る](#)

## お知らせ

### お客様相談室・ i-農力だよりお休みします

お客様相談室およびi-農力だより(本誌)を次の期間お休みします。期間中はご不便をおかけしますが、何卒よろしくお願ひいたします。

#### ★お客様相談室

【休業期間】

2016年12月27日(火)17:00~

2017年1月5日(木)9:00

期間中に留守番電話に寄せられたご相談は、1月5日以降順次ご回答させていただきます。

#### ★i-農力だより

【休刊期間】

2017年1月~2017年3月

4月から新しいi-農力だよりをお届けします。

### 読者プレゼント実施中！

今月は日本各地から編集メンバーが独断で選んだ特産品の詰め合わせを抽選で1名の方にプレゼントします。  
たくさんのご応募お待ちしております！

#### ★応募方法★

今月号の「i-農力だより」で気になった記事を1つお選びいただき、ご意見・ご感想をお寄せください。  
応募締切: **1月15日(日)**

[詳細はこちら](#)



[目次へ戻る](#)



# i-農力だより農園

「i-農力だより農園」では、今月も社員が奮闘しながら作物を育てています。農家のみなさんの気持ちがわかるようになるのはいつの日か？みなさんからのコメントもどしどしお寄せください！

我家の農園は家の裏庭（北側）のため、この時期になると気温が低いように日が差さず、休園となります（真冬には霜柱もしばしば見かけます）。

冬とは言え放置しておくと雑草が我が物顔ではびこり、翌年以降の雑草の元となりますので、秋の収穫を終えて後片付けをした後は、耕してから土改剤と肥料をやりマルチを張って冬を過ごします。そして翌年のGW前に畑の整備をして、なすときゅうりを前年とは入れ替えて定植します。

今年も押しつまり、我家の農園は来年の春を夢見ながら長い眠りに付いています。またどこかで我家の農園をご紹介できる日を楽しみにしています。（玉置）



現在の畑の様子



今年の定植時(5月7日)のなす(左)ときゅうり



小松菜



そら豆(がんばれ～)

氏家農場長コメント

さすがに北側の庭での家庭菜園だと、この時期は既に冬眠ですかあ。そんな中でも雑草というのは元気なものです。恐るべし！

でもせっかくマルチを張るのなら、秋に法蓮草や小松菜の種を蒔いてみては？ 品種にもよりますが、寒さにあたって「寒じめ」となり、おいしい葉物が食べられますよ。来年お試しあれ。

さて我が菜園も冬となり作目は少なくなっていますが、その中でも秋まきの小松菜やルッコラが元気にワサワサ、ブロッコリーも順次収穫中です。

先日そら豆を定植しましたが、育苗失敗で徒長しヒョロヒョロ状態。さて冬越しできますやら。

[目次へ戻る](#)



編集メンバーの

## ゆく年くる年



今年も一年、様々な出来事がありました。i-農力にとってはリニューアル準備の一年となりました。来年はもっとみなさまのお役に立てる情報を発信してまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。



今年も不安定な気候が多く、また各地で地震が発生し、農家の皆様におかれましては気苦労が絶えない年ではなかったかと感じております。農作物の不作は消費者の食卓にもダイレクトに影響し、日頃の皆様のご尽力による恩恵を痛感することが今年は特に多かったように感じております。

我々アグロ事業部マーケティング部といたしましても、新規剤の開発や既存剤の普及促進、また新規事業立ち上げに伴うサポート業務など、目まぐるしい一年でした。特に今年発起いたしました「GO!ピレスロイド宣言」キャンペーンは、来年以降も様々な形で皆様に有益な情報をご提供させていただきますので、どうぞご期待ください。

また、貴の挨拶でもふれていますが、i-農力サイトの2017年4月リニューアルに伴い本誌も1月~3月の間休刊することとなります。2017年4月からは、これまで以上に農家の皆様に役立つ情報をご提供できるよう尽力してまいりますので、しばらくの間ご辛抱願います。

政府主導の農業改革がいろいろ取り沙汰される中、来年からは生産現場で変革の動きが本格化して来るのではないかと思います。動きの多い一年になりそうですが、皆様、くれぐれもご自愛いただき、良い年をお迎えください。(私はせつせと家庭菜園の冬野菜の世話に励みます)

(マーケティング部長 氏家 敬)

今年日本の農業にとって大きな変化が巻き起こる予兆を感じる年だったのではないのでしょうか。多くのメディアで日本の農業が生き残るためのあるべき姿が論じられ、もはや国内の農業もグローバル化の中でいかに競争力高く生き残っていくかが争点になってきています。

国連が発表する世界の人口を見れば2050年には97億に達すると予測され、国内を見渡せば先進国の中で経験したことがない少子超高齢化社会を迎えます。つまり、世界ではどんどん「食」の需要が高まり、国内では確実に「食」の需要が減るような矛盾した社会をこれから経験していきます。

このような環境下、食を支える農業、とりわけ日本の農業は、これからどこに向かうべきなのでしょう。私もまだ明確な答えはございませんが、おそらく間違いなく言えるのは環境に対応した「変化」と「革新」という2つのキーワードが今後もさらに求められるということではないかと思っています。

そのような意味で、我々農業メーカーが果たさなければならない役割を十分に意識しながら、来年度もi-農力という皆様への情報提供を通じて、変化と革新への一助になれたらと強く思っています。

(パブリックリレーションチーム広告宣伝担当 鈴木 欣也)



4月末で定年を迎えた前田 清人です。ご縁をいただいて5月から勤務しています。私は関係会社での勤務が長く、所属会社名が住友化学株となるのは20年ぶりのことです。勤続42年間を振り返りますと、まさに「光陰矢のごとし」の言葉どおりでした。

2016年は厄年ということもあってか、年初に病気で手術・入院のために長期休暇をいただきました。現在は元気になりましたが、「無事これ名馬」の言葉を噛みしめながら、皆様のお役にたてるような相談員を目指して頑張ります。これからもi-農力だよりをよろしくお願いたします。目指せ「勤続半世紀?」。

(お客様相談室 前田 清人)

皆様のおかげをもちまして、今月末で無事会社を卒業します。

本誌発行の動機を思い起こせば、お客様相談室の立場は受け身的で、なんとかお客様に情報発信できればと思い、11年前に「住化・住武 相談室だより」を作成して発信しました。

今は当時と比べものにならないほど充実した「住友化学i-農力だより」となり、後任の人たちの努力とi-農力会員様の暖かいご支援のおかげと感謝しております。

さて、老兵は静かに去るのみです。そして、地元に戻り、本格的にオリーブの栽培に取り組みます。

最後に、「i-農力だより」を引き続きご支援ご指導のほどよろしくお願申し上げます。

ありがとうございました。

(お客様相談室 古津 昇)





2016年も残すところ数日となりました。本年は皆様にとってどんな一年でしたでしょうか？熊本地震、北海道で猛威を振るった台風、イギリスの欧州連合離脱決定やトランプ氏が次期大統領に決まる等々、色んな事が起こった一年でした。

私個人的にも5年ぶりに国内アグロ事業部に戻り、パブリックリレーションチームで新たな業務を始めた年でありました。

今年スタートした「GO！ピレスロイド宣言」キャンペーンは、次年度以降も継続して皆様に情報発信をしてゆく取組であります。また、来年4月のi-農カサイトとi-農力だよりのリニューアルにむけて、着々と準備を進めています。

世の中の情勢や環境が変化し続ける中において、我々パブリックリレーションチームも変化に対応し続けられるチームを目指して頑張っておりますので、次年度以降も引き続きi-農力だより共々よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆様のご家族とご一緒に良い年を迎えられますことをお祈り申し上げます。  
(パブリックリレーションチーム統括兼i-農力だより編集責任者 玉置 昌宏)

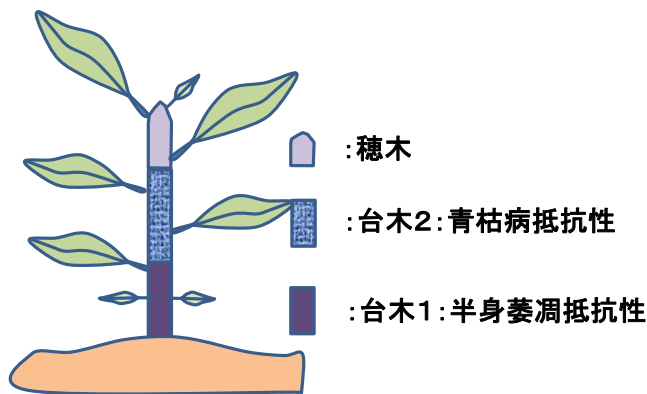
良い年をお迎えください

[目次へ戻る](#)

## ～編集後記～



今回、ナスの産地である新潟県を訪問し生産現場取材しましたが、その際に“多段接ぎ木”という技術を小田切さん、土田さんから教えてもらいました。通常の接ぎ木は、病害抵抗性のある台木に生産性や品質の良い品種を接ぎ木しますが、“多段接ぎ木”は、病害抵抗性を更に高めるために接ぎ木を2回行う技術です。ナスの場合、まず半身萎凋病に抵抗性のある1番目の台木品種に青枯れ病に抵抗性のある2番目の台木品種を接いで、さらに3番目に実をならす品種を接ぎます。2番目の青枯れ病に抵抗性のある品種は茎のみが下の1番目の台木品種と上の3番目の実を生らす品種の間に挟まれた状態となります。青枯れ病抵抗性品種の導管内を青枯れ病菌は移動しにくいことを利用しているようで、茎の長さも重要とのこと。2回接ぎ木するので生産に手間や時間、コストがかかることに改善の余地があるようです。



お客様相談室にも青枯れ病や半身萎凋病の防除についての問合せがしばしばあります。この技術の発展を今後見守っていきたいと思います。詳しくは添付の農研機構のホームページを参照ください。

<https://www.naro.affrc.go.jp/narc/contents/demae/demae06/index.html>

(泉)

長年のご愛読ありがとうございました。  
次回発行までしばらくお待ちください。  
どうぞお楽しみに！！



[目次へ戻る](#)